

## 佐塚佐和子歌「蕃社の娘」及び「思い出の蕃山」覚書(九訂稿)

### —日本統治下台湾警察史の一齣—

・HP 初載(初稿): 本 HP 別稿「サヨンの鐘」によせて—「サヨンの鐘」資料一斑—(五訂稿)—日本統治下台湾警察史の一齣—(平成 20 年 3 月 15 日〈土〉作成)に、「(追記): 佐塚佐和子歌「蕃社の娘」及び「思い出の蕃山」覚書」として掲載。

(平成 20 年 3 月 15 日〈土〉初稿作成)

・(改訂稿): 独立稿の「佐塚佐和子歌「蕃社の娘」及び「思い出の蕃山」覚書」とした。

(平成 20 年 3 月 20 日〈木〉改訂稿作成)

・(二訂稿): 最近「You Tube」にレコード「南の星」、「サヨンの歌」及び「なつかしの蕃社」が掲載されたことから、「4 関係アドレス」及び「5 「You Tube」掲載の「サヨンの鐘」関係歌」を独立させ、かつ、これに対応して、本文を一、二修正した。

(平成 20 年 4 月 3 日〈木〉二訂稿作成)

・(三訂稿): 本 HP 別稿「サヨンの鐘」関係文献抄—「サヨンの鐘」資料一斑—(改訂稿)—HP 別稿「サヨンの鐘」によせて—「サヨンの鐘」資料一斑—参考資料—(平成 20 年 5 月 2 日作成)掲載に関連し、全体にわたって一、二修正した。

(平成 20 年 5 月 3 日〈土〉三訂稿作成)

・(四訂稿): 「蕃社の娘」に関する台湾の HP「経典演歌」の件、「十八姑娘一朵花」の件等を補充し、全体にわたって一、二修正した。

<http://blog.xuite.net/lynnman/music/17104277>

(平成 20 年 5 月 31 日〈土〉四訂稿作成)

・(五訂稿): 「南の花嫁」(作詞: 西條八十〈1892~1970〉、作曲: 服部良一〈1907~1993〉、コロンビア、昭和 15〈1939〉年 12 月発売)関係の件を補充した。

(平成 20 年 6 月 16 日〈月〉五訂稿作成)

・(六訂稿): 『オリジナル盤による秘蔵盤・昭和(SP時代)の流行歌』(発売元: 日本コロンビア、昭和 55 年 7 月刊)収録の「思い出の蕃山」の件を追加した。これにより、「思い出の蕃山」関係は、全部の書直しが必要となるが、諸般の事情から、今回は、取りあえず、註 9、註 14 に一部記載するだけに留めておく。

(平成 21 年 1 月 8 日〈木〉六訂稿作成)

・(七訂稿): 「You Tube」に最近掲載の「蕃社の娘」について言及するとともに、全体にわたって一、二補正した。なお、関係諸稿に倣い、副題を追加した。

(平成 22 年 10 月 10 日〈日〉七訂稿作成)

・(八訂稿): 「4 「望郷の月」」を追加し、全体にわたって一、二補正した。なお、冒頭に、「関係諸稿一覧」を追加した。

(平成 24 年 10 月 2 日〈火〉八訂稿作成)

・(九訂稿): 一、二補正を加えた。

(平成 26 年 11 月 26 日〈水〉九訂稿作成)

## (参考) 関係諸稿一覧

\*本稿関連で、全般的なものとしては、台湾の HP 「古い記憶のメロディー」  
〈<http://www.geocities.jp/abm168/>〉参照。なお、同 HP 中「台湾の校歌其他」  
で「台湾警察歌」のメロディーが聴ける。

\*本 HP 掲載の日本統治下台湾関係歌稿としては、下記の諸稿がある。

・「澤村胡夷と台湾警察歌—日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawamura001.pdf>〉

・「「台湾警察歌」の作曲者—一條慎三郎氏の御業績を巡って— 一條元美氏の御  
長逝を悼みて—」

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ichijo001.pdf>〉

・「台湾総督府警察官及司獄官練習所歌覚書—「椰子の実みのる」及び「彩雲め  
ぐる」をめぐって— 日本統治下台湾警察史の一齣—」

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/renshushouta.pdf>〉

・「「サヨンの鐘」によせて—「サヨンの鐘」資料一斑—」

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sayun001.pdf>〉

・「「サヨンの鐘」関係文献抄 —「サヨンの鐘」資料一斑— —HP 別稿「「サヨ  
ンの鐘」によせて—「サヨンの鐘」資料一斑—」参考資料—」

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sayunbunken.pdf>〉

・「再び澤村胡夷作詞「台湾警察歌」及び「サヨンの鐘」について—日本統治下  
台湾警察史の一齣—」

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/futatabi.pdf>〉

・「佐塚佐和子歌「蕃社の娘」及び「思い出の蕃山」覚書」(本稿)

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/satsuka.pdf>〉

・「「台湾軍の歌」覚書—日本統治下台湾諸歌の一齣—」

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taiwangunka.pdf>〉

・「ネット等に聴く戦前期の台湾歌謡曲—「雨夜花」と「サヨンの鐘」を中心  
に— 日本統治下台湾諸歌の一齣—」

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/netkayo.pdf>〉

## 〔目 次〕

1 概要	3
2 「蕃社の娘」	6
(参考)「十八姑娘一朵花」	7
3 「思い出の蕃山」	7
4 「望郷の月」	8
5 関係アドレス	8
6 「You Tube」等掲載の「サヨンの鐘」関係歌	9

### 1 概要

霧社事件<sup>1</sup>(昭和 5 (1930) 年 10 月 27 日発生)関係者として有名な佐塚佐和子(1914~1977、サワ・サツカ)については、周知のように、例えば、鄧相揚著(1951~)・下村作次郎(1949~)監修・魚住悦子(1954~)訳『植民地台湾の原住民と日本人警察官の家族たち』(日本機関紙出版センター、平成 12 年 8 月 15 日刊)等に詳しい<sup>2</sup>。

戦前同氏が歌った台湾等関係の歌に、「蕃社の娘」(コロンビアレコード、作詩:栗原白也<sup>3</sup>、作曲:唐崎夜雨(鄧雨賢)<sup>4</sup>、歌:サワ・サツカ(佐塚佐和子)、昭和

<sup>1</sup> <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%9C%A7%E7%A4%BE%E4%BA%8B%E4%BB%B6>  
最近の文献として、『日本台湾学会報』第 12 号(平成 22 年)5 月刊「特集 「台湾原住民にとっての霧社事件」」参照。[http://jats.gr.jp/journal/journal\\_012.html](http://jats.gr.jp/journal/journal_012.html) また、台湾映画『セデック・パレ』(原題:賽德克・巴萊、Seediq Bale。2011 年)参照。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%BB%E3%83%87%E3%83%83%E3%82%AF%E3%83%BB%E3%83%90%E3%83%AC>

<http://blog.goo.ne.jp/azianokaze/e/6cf4406dd92a1f886bfd0eb9eb11de6b>

(平成 24 年 10 月 2 日追加)

<sup>2</sup> 「サワ・サツカ」は芸名で、昭和 15(1940)年 4 月 1 日「芸名統制令」で本名に戻ったものかと思われる。同氏については、例えば、台湾・澤庵氏の HP「植民世代 歌曲『莎韻之鐘』 相關文献的查證」(2007 (平成 19) 年 11 月 12 日掲載)が参考になるが、その他ネットにも、各種の記事がある。

<http://tw.myblog.yahoo.com/jw!VC00iUmLHwKalCCy98M4/article?mid=104>

同氏も関係していると思われる私家写真集関連サイトとして、下記のものがある。

<http://web.thu.edu.tw/mike/www/class/GS/GS-Project/yama/simoyama-pic/simoyama.html>

<http://web.thu.edu.tw/mike/www/class/GS/GS-Project/yama/simoyama-pic/album/001-cover.html#1>

(七訂稿:平成 22 年 10 月 10 日追加)

<sup>3</sup> 栗原白也(? ~?): 作詞家、「高雄みなと節」(昭和 12 年)、「躍進大甲」(昭和 13 年)等がある。

14 〈1939〉年 7 月 15 日 〈8 月?〉発売)及び「思い出の蕃山」(作詩: 栗原白也、作曲: 竹岡信幸<sup>5</sup>、編曲: 奥山貞吉<sup>6</sup>、歌: サワ・サツカ、昭和 14 〈1939〉年 7 月 15 日 〈8 月?〉発売)、「望郷の月」(作詞: 松村又一<sup>7</sup>、作曲: 唐崎夜雨、歌: 佐塚佐和子、昭和 15 年 8 月発売)及び「南の花嫁」(作詞: 西條八十、作曲: 服部良一、歌: 佐塚佐和子、コロンビア、昭和 15 〈1939〉年 12 月発売 〈「南の花嫁」の件、平成 20 年 6 月 16 日追加) )<sup>8</sup>等<sup>9</sup>があるが、これらは、秘蔵者は別にして、戦後は長く一般には聴くことが難しい状況下にあった<sup>10</sup>。

しかるに、このうち、「蕃社の娘」については、2006(平成 18)年 3 月 30 日に、台湾の「まるやか翁」が主宰する HP「古い記憶のメロディー」<sup>11</sup>(「関係アドレ

---

〈<http://www.kawara-ban.com/renesai29.html>〉参照(サイト、平成 22 年 10 月 10 日追加)。

<sup>4</sup> 鄧雨賢(唐崎夜雨、東田暁雨、1906~1944): 戦前台湾の有名な作曲家、「雨夜花」、「望春風」、「月夜愁」等がある。

〈<http://zh.wikipedia.org/wiki/%E9%84%A7%E9%9B%A8%E8%B3%A2>〉参照。

<sup>5</sup> 竹岡信幸(1907~1985): 作曲家、「支那の夜」(昭和 13 年 12 月発売)、「白蘭の歌」(昭和 14 年 12 月発売)等がある。

〈<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%AB%B9%E5%B2%A1%E4%BF%A1%E5%B9%B8>〉

<sup>6</sup> 奥山貞吉(1887~1956): 編曲家。〈<http://lavian.hp.infoseek.co.jp/dai3shou.htm>〉

<sup>7</sup> 松村又一(?~1992): 作詞家。

<sup>8</sup> 「南の花嫁」(作詞: 西條八十 〈1892~1970〉、作曲: 服部良一 〈1907~1993〉、コロンビア、昭和 15 〈1939〉年 12 月発売)の歌詞は、次のとおりである(『西條八十全集』第 9 巻〈歌謡・民謡Ⅱ〉〈国書刊行会、平成 8 年 4 月 30 日刊〉102 頁参照。)

(「南の花嫁」の件、平成 20 年 6 月 16 日追加)

1 赤い夕日に 暮れゆく渚 なにが悲しい 曾長の娘 護謨の葉蔭で 涙をうかべ けふも待つ待つ 白い船

2 花の十六 口紅染めて 独木舟(まるきぶね)漕ぐ 曾長の娘 可愛い寝顔で 昼寝をすれば 嫁にほしいと 鰐が啼く

3 鸚鵡抱き抱き お轎(かご)にのつて けふは嫁入り 曾長の娘 砂にこぼれた 涙のあとも 明日に消えましょ 南風

<sup>9</sup> 下記サイトは、「愛国乙女」の件を記載している。(平成 22 年 10 月 10 日追加)

〈<http://spysee.jp/%E4%BD%90%E5%A1%9A%E4%BD%90%E5%92%8C%E5%AD%90/1446804/#lead>〉

なお、「南の花嫁さん」(作詩: 藤浦 洸 〈1898~1979〉、作曲: 任 光 〈1900~1941〉、歌: 高峰三枝子 〈1918~1990〉、昭和 17 年)は、別の歌である。この中国語のものとして、「彩雲追月」がある。〈<http://jp.youtube.com/watch?v=Zo5WpNJ07Tw>〉。

<sup>10</sup> 例えば、ネット「塚越電脳音楽工房 掲示版」の [670] (平成 18 〈2006〉年 3 月 27 日)~ [674] (平成 18 〈2006〉年 4 月 2 日)には、「蕃社の娘」に関する興味深い記載が掲載されている。〈<http://bbs4.sekkaku.net/bbs/?id=tsuka&page=81>〉

(追記) 平成 21(2009)年 1 月 7 日、さる識者より、「思い出の蕃山」は、早くに、『オリジナル盤による秘蔵盤・昭和(SP 時代)の流行歌』(発売元: 日本コロンビア、昭和 55 年 7 月刊)に収録されていた(第 19 面、150 思い出の蕃山)ことを指摘された。まったくの知識不足で、寔にお恥ずかしい次第である。なお、これにつき、註 14 参照。(平成 21 年 1 月 8 日追加)

<sup>11</sup> 「まるやか翁」(1922~)に、台湾の「ヤベ氏」(近年逝去)及び我が「三田裕次氏」が協力されて運営管理されておられる貴重なサイト 〈<http://www.geocities.jp/abm168/>〉である。

ス①」：後出)中の「軍歌、戦時歌謡アルバム」が、メロディーを掲載した(更に同年4月3日に補填か。)。次いで、2007(平成19)年5月18日、台湾のHP「桃花開出春風」(「関係アドレス②」 後出)で、中国語歌詞のものと併せ、初めて歌そのものがネット公開されたが、その後、2008(平成20)年3月1日、台湾のHP「台湾迷的78轉留聲機音樂部落格」(「関係アドレス③」 後出)中の「1939唐崎夜雨創作蕃社の娘」でも、同じように掲載された。更に、2010(平成22)年9月2日、You Tubeに、台湾の方が「蕃社の娘」を掲載されたので、今では簡単に聞くことができるようになった(「更に」以下、七訂稿:平成22年10月10日追加)。

この他、ネット掲載時期は特定できないが、台湾のHP「経典演歌」〈<http://blog.xuite.net/lynnman/music/17104277>〉で、江蕙<sup>12</sup>の歌が聴くことができる。(この項、平成20年5月31日追加)

なお、本「蕃社の娘」は、台湾では、現在、「十八姑娘一朵花」として歌われており、これは、台湾の多くのネットサイトで聴くことができる。<sup>13</sup>。(平成20年5月31日追加)

他方、「思い出の蕃山」については、2008(平成20)年3月17日、上記台湾HP「古い記憶のメロディー」(「関係アドレス④」 後出)の「思い出の曲アルバム」中で、ネット公開された。これは、同HPの「ゲストブック」同年3月13日付「齋藤二郎氏」の記載を受けて、HP主宰者の「まるやか翁」が「塚越氏」<sup>14</sup>の資料及びMP3に拠って掲載されたもので、おそらく戦後初めての公開ではないかと思われる<sup>15</sup>。

これら「蕃社の娘」及び「思い出の蕃山」両歌の歌詞は、例えば、『九州日日新聞』(熊本市)昭和14年6月10日夕刊第3面「血染めの名刺をお守りに 佐

---

<sup>12</sup> 江蕙のウィキペディアについては、下記を参照。(四訂稿:平成20年5月31日追加)

〈<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B1%9F%E8%95%99>〉

<sup>13</sup> 「十八姑娘一朵花」は、You Tube等で聴くことができる。例えば、張琍敏のものは下記参照。〈<http://blog.xuite.net/lynnman/music/16748156>〉(四訂稿:平成20年5月31日追加)

<sup>14</sup> 「塚越氏」は、上記ネット「塚越電腦音楽工房 揭示版」の管理者の方と思われるが、HP「古い記憶のメロディー」の当該記載では不詳である。

「塚越電腦音楽工房」〈<http://www005.upp.so-net.ne.jp/tsukakoshi/index.html>〉参照。

<sup>15</sup> 註8で記したように、「思い出の蕃山」は、既に、『オリジナル盤による秘蔵盤・昭和(SP時代)の流行歌』(発売元:日本コロムビア、昭和55年7月刊)に収録されていた。すなわち、同集第19面収録の「150 思い出の蕃山 歌・サワ・サツカ」であり、「解説編」では、83頁に、森一也氏による解説が掲載されている。上記註12で記載した塚本氏の「資料」なるものは、出処の記載がないが、おそらくや、この『オリジナル盤による秘蔵盤・昭和(SP時代)の流行歌』(発売元:日本コロムビア、昭和55年7月刊)を利用されたものと思われる。(六訂稿:平成21年1月8日追加)

塚佐和子さん「レコード界に入る」記事中に掲載されている<sup>16</sup>が、特に、「想い出の蕃山」の歌詞は、管見の限りでは、上記「古い記憶のメロディー」中「塚越氏」提供の「思い出の曲アルバム」記載のものを除くと、現時点では他では見られないようである<sup>17</sup>。

そこで、以下、参考までに、両歌を記載しておく。歌詞は、基本的には、上記『九州日日新聞』昭和14年6月10日(土)夕刊第3面に拠った。ただし、同紙では、「蕃社の娘」の三聯が省略されているので、これは、上記『植民地台湾の原住民と日本人警察官の家族たち』144頁所載歌詞で補った<sup>18</sup>。また、「想い出の蕃山」の同紙での不明箇所は、上記台湾のHP「古い記憶のメロディー」の「思い出の曲アルバム」中の「塚越氏」資料で修正した。

なお、「望郷の月」(佐塚佐和子歌、松村又一作詞、唐崎夜雨作曲、昭和15年8月新譜)が、You tube に平成24年2月28日アップされている<sup>19</sup>。(「なお」以下、平成24年10月2日追加)

## 2 「蕃社の娘」

### ● 「蕃社の娘」(作詩: 栗原白也、作曲: 唐崎夜雨、歌: サワ・サツカ)

1 蕃社(やま)の娘の純情(まごころ)は 赤いめなふ(瑪瑙)の首飾り

胸に燃えたつ恋の唄 はづむ踊の足拍子

女声合唱(蕃語)

キータ、ヒヤンヒヤンヒヤンナト、ヒヤンヒヤンハンナ

イーサメン マンタ ハーハーイ

2 深山(みやま)育ちの娘でも なやみもあるよ 恋もある

背戸のパパイヤ 稔る頃 泣けてならない 夜もある

女声合唱(蕃語)

キータ、ヒヤンヒヤンヒヤンナト、ヒヤンヒヤンハンナ

---

<sup>16</sup> これは、ネット「昭和初期の映画主題歌あれこれ(平成19年5月17日)」の御教示に基づく。〈<http://blog.livedoor.jp/oke1609/archives/54181113.html>〉

<sup>17</sup> 「古い記憶のメロディー」中「塚越氏」提供の「思い出の曲アルバム」記載のものも、そもそもは、前掲『オリジナル盤による秘蔵盤・昭和(SP時代)の流行歌』(発売元: 日本コロムビア、昭和55年7月刊)「解説編」83頁が、その出处である。

(追記)「想い出の蕃山」は、You tube に平成24年6月9日アップされたものがある。

〈<http://www.youtube.com/watch?v=ZsRHtV7eMGk>〉(平成24年10月2日追加)

<sup>18</sup> なお、歌詞は、上記台湾のHP「経典演歌」にも掲載されている。(四訂稿: 平成20年5月31日追加) 〈<http://blog.xuite.net/lynnman/music/17104277>〉

<sup>19</sup> 「望郷の月」You tube 〈<http://www.youtube.com/watch?v=031SIYsHXk4>〉(平成24年10月2日追加)

- イーサメン マンタ ハーハーイ
- 3 峰は千丈 屋根越えて 通う心の一筋に  
どこまで続く恋ぢややら どうせ果かない流れ星
- 女声合唱(蕃語)  
キータ、ヒヤンヒヤンヒヤンナト、ヒヤンヒヤンハンナ  
イーサメン マンタ ハーハーイ
- 4 娘心の せつなさを 蕃布(ばんぷ)の綾(あや)に織り込んで  
せめてあの日の憶ひ出に 情の糸を交はせる
- 女声合唱(蕃語)  
キータ、ヒヤンヒヤンヒヤンナト、ヒヤンヒヤンハンナ  
イーサメン マンタ ハーハーイ

●(参考)「十八姑娘一朵花」(四訂稿:平成20年5月31日追加、平成26年11月26日一部修正)  
(〈<http://blog.xuite.net/lynnman/music/16748156>〉に拠る。⇒平成26年11月26日現在では不明か? ⇒〈<https://www.youtube.com/watch?v=zlIXV4zb-iw>〉)

- 1 十八的姑娘一朵花 一朵花 眉毛彎彎眼睛大 眼睛大  
紅紅的嘴唇雪白牙 雪白牙 粉粉的笑臉 粉粉笑臉賽晚霞  
啊姑娘十八一朵花 一朵花
- 2 十八的姑娘一朵花 一朵花 每個男人都想她 都想她  
沒錢的小伙兒她不愛 她不愛 有錢的老頭兒 有錢老頭兒她不想  
啊姑娘十八一朵花 一朵花
- 3 十八的姑娘一朵花 一朵花 美麗青春好年華 好年華  
姑娘長大不可留 不可留 留來留去 留來留去成冤家  
啊姑娘十八一朵花 一朵花

### 3 「思い出の蕃山」

●「思い出の蕃山」(作詩:栗原白也、作曲:竹岡信幸、歌:サワ・サツカ)

- 1 ほのかに浮かぶ 思い出は 蕃山(やま)の 狭霧のほの白く  
情けに濡れた 百合の露 はかなく消えし 朝の夢
- 2 若きあの日の 想ひ出は 椰子の葉蔭の 月青く

せつなき胸の 苦しみに 乙女心を 泣いた夜  
3 瞼に浮ぶ 想ひ出は かへる我が娘を 待ち侘びて  
そば降る雨の つり橋に しよんぼり濡るゝ 母の影

#### 4 「望郷の月」(平成 24 年 10 月 2 日追加)

● 「望郷の月」(作詞: 松村又一作詞、作曲: 唐崎夜雨作曲、歌: 佐塚佐和子、昭和 15 年 8 月新譜)

「望郷の月」が、You tube に平成 24 年 2 月 28 日アップされている。

〈<http://www.youtube.com/watch?v=031SIYsHXk4>〉

#### 5 関係アドレス

上記「蕃社の娘」及び「思い出の蕃山」の関係アドレスは、以下のとおりである。(平成 20 年 4 月 3 日、5 月 31 日各修正)

・① 「古い記憶のメロディー」の「軍歌、戦時歌謡アルバム」(「蕃社の娘」のメロディーのみ。2006 〈平成 18〉年 3 月 30 日公開、同年 4 月 3 日補填か。)

〈<http://www.geocities.jp/abm168/>〉

・② 「桃花開出春風」(「蕃社の娘」)(2007 〈平成 19〉年 5 月 18 日公開か。)

〈<http://blog.sina.com.tw/davide/article.php?pbgid=28994&entryid=484543>〉

・③ 「台湾迷的 78 轉留聲機音樂部落格」 「1939 唐崎夜雨創作蕃社の娘」(「蕃社の娘」)(2008 〈平成 20〉年 3 月 1 日公開か。)

〈<http://tw.myblog.yahoo.com/cfz9155cfz0678sv-cfz9155cfz0678sv/article?mid=2399&next=2179&l=a&fid=33>〉

・④ You Tube 「蕃社の娘」〈<http://www.youtube.com/watch?v=3uKEm9fOFgg>〉(2010 〈平成 22〉年 9 月 2 日公開。)(七訂稿: 平成 22 年 10 月 10 日追加)

・⑤ 台湾の HP 「経典演歌」〈<http://blog.xuite.net/lynnman/music/17104277>〉で、江蕙の歌が聴ける。(掲載年月日不詳)(四訂稿: 平成 20 年 5 月 31 日追加)

「十八姑娘一朵花」は、You Tube 等で聴くことができる。例えば、張琍敏のもの〈<http://blog.xuite.net/lynnman/music/16748156>〉参照。(四訂稿: 平成 20 年 5 月 31 日追加)

・⑥ 「古い記憶のメロディー」の「思い出の曲アルバム」(「思い出の蕃山」。2008 〈平成 20〉年 3 月 17 日公開) 〈<http://www.geocities.jp/abm168/>〉



## 6 「You Tube」等掲載の「サヨンの鐘」関係歌<sup>20</sup>

同じ蓄社を扱ったものに、有名な「サヨンの鐘」があるが、「You Tube」掲載の同歌関係の概要は、以下のとおりである。(平成 20 年 4 月 3 日修正、追加)

・① 「You Tube」 西條八十(1892~1970)作詞、古賀政男(1904~1978)作曲、奥山貞吉(1887~1956)編曲、渡辺はま子(1910~1999)<sup>21</sup>歌「サヨンの鐘」(昭和 16 〈1941〉年 10 月 コロンビア A 面)(B 面: 下記「南の星」)

〈<http://jp.youtube.com/watch?v=G54YpWBhp3I>〉(平成 20 年 1 月 12 日掲載)

また、同平成 20 年 4 月 6 日、「You Tube」に、胡美芳(1926~2009)歌の「サヨンの鐘」も掲載された 〈<http://jp.youtube.com/watch?v=ZiWC7DW4HFU>〉。(三訂稿: 平成 20 年 5 月 3 日追加)。ただ、これはその後削除され、同年 9 月 29 日、新たに掲載された 〈[http://jp.youtube.com/watch?v=MTW9\\_2gFu2U](http://jp.youtube.com/watch?v=MTW9_2gFu2U)〉。(六訂稿: 平成 21 年 1 月 8 日追加)。

「サヨンの鐘」は、戦後の台湾では、「月光小夜曲」として歌われている。例えば、「You Tube」、「YOU MAKER」の「月光小夜曲」参照(四訂稿: 平成 20 年 5 月 31 日追加) 〈<http://www.youmaker.com/video/search>〉。その他、広東語のものであるが、「每當變幻時」(広東語。1977 年、薰妮。張偉文等)も、「You Tube」で見ることができる<sup>22</sup>(平成 22 年 10 月 10 日追加)。

---

<sup>20</sup> 「サヨンの鐘」関係については、本 HP 別稿「「サヨンの鐘」によせて—「サヨンの鐘」資料一斑— 日本統治下台湾警察史の一齣—

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sayun001.pdf>〉、「「サヨンの鐘」関係文献抄 —「サヨンの鐘」資料一斑— —HP 別稿「「サヨンの鐘」によせて—「サヨンの鐘」資料一斑— 参考資料—」 〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sayunbunken.pdf>〉 及び「再び澤村胡夷作詞「台湾警察歌」及び「サヨンの鐘」について—日本統治下台湾警察史の一齣—」 〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/futatabi.pdf>〉 各参照。(平成 20 年 6 月 16 日一部追加、平成 21 年 1 月 8 日、平成 22 年 10 月 10 日、平成 24 年 10 月 2 日一部修正、平成 26 年 11 月 26 日一部修正)

<sup>21</sup> 渡辺はま子(1910~1999): 「支那の夜」(昭和 13 年 12 月)、「蘇州夜曲」(昭和 15 年 8 月)等がある。

〈<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B8%A1%E8%BE%BA%E3%81%AF%E3%81%BE%E5%AD%90>〉

<sup>22</sup> 薰妮関係のサイトとして、例えば下記のを参照。

- ・ 〈[http://www.vinylparadise.com/4pop\\_can/1/035FL00A.htm](http://www.vinylparadise.com/4pop_can/1/035FL00A.htm)〉
- ・ 〈[http://yourenergy.blog.hexun.com.tw/21245477\\_d.html](http://yourenergy.blog.hexun.com.tw/21245477_d.html)〉
- ・ 〈<http://www.youtube.com/watch?v=120-8BE8E7o>〉(粵語〈廣東話〉歌曲)。

- ・② 「You Tube」 西條八十作詞、服部良一(1907~1993)作曲、霧島 昇(1914~1984)歌「南の星」(昭和 16 (1941) 年 10 月 コロンビア B 面)(A 面: 上記「サヨンの鐘」) 〈<http://jp.youtube.com/watch?v=DxexLhBvKIs>〉 (平成 20(2008)年 3 月 15 日掲載)
- ・③ 「You Tube」 西條八十作詞、古賀政男作曲、李香蘭(1920~)歌「サヨンの歌」(映画『サヨンの鐘』〈昭和 18 年 7 月 1 日封切〉の挿入歌〈主題歌〉、レコード〈昭和 18 年 5 月 20 日発売〉A 面)(B 面: 下記「なつかしの蕃社」) 〈<http://jp.youtube.com/watch?v=g3gO5fOpRCK>〉 (平成 20(2008)年 3 月 28 日掲載)
- ・④ 「You Tube」 西條八十作詞、古賀政男作曲、霧島 昇・菊池章子(1924~2002)歌「なつかしの蕃社」(映画『サヨンの鐘』〈昭和 18 年 7 月 1 日封切〉の挿入歌〈主題歌〉、レコード〈昭和 18 年 5 月 20 日発売〉B 面)(A 面: 上記「サヨンの歌」) 〈<http://jp.youtube.com/watch?v=lNK3eHxocRs>〉 (平成 20(2008)年 4 月 1 日掲載)

#### (参考)

- ・① 台湾の HP「古い記憶のメロディー」中の「思い出の曲アルバム」及び「軍歌、戦時歌謡アルバム」に、上記 4 曲のメロディーが収録されている。  
〈<http://www.geocities.jp/abm168/>〉
- ・② 「台湾軍の歌」(台湾軍報道部作詞、山田栄一作曲、灰田勝彦〈1911~1982〉歌、昭和 15 年 10 月、日本ビクター)<sup>23</sup>も、現在では、歌そのものは、各種サイトで聞ける。「You Tube」では、かつては、一部掲載されている映画『サヨンの鐘』中での、李香蘭(1920~2014)のもの(平成 20 年 4 月 3 日掲載)を聞くことができた(〈<http://jp.youtube.com/watch?v=U6SxYPuHGjQ>〉)及び  
〈[https://www.youtube.com/watch?v=Nqxx\\_M9RrXA](https://www.youtube.com/watch?v=Nqxx_M9RrXA)〉)程度であった(三訂稿:

<sup>23</sup> 「台湾軍の歌」の題名、作詞者等は、何故か、今ではやや理解が難しい。例えば、台湾の HP「音願値針 蓄音機 SP レコード 骨董 辺境の旅」(下記アドレス参照。)は、当該レコードを掲載し、「台湾軍の歌」を「台湾派遣軍の歌」と称して HP で記述している例もあるがこれはまったくの誤りであり、作詞「本間雅晴中将」、作曲大沼哲と記述しているが作詞「台湾軍報道部」、作曲山田栄一が正しい。作詞「本間雅晴中将」、作曲大沼哲とはこの曲とはまったく別物の「光輝かがやく台湾軍」と言う曲である。また、この曲とは別に同名の「台湾軍の歌」があるがこれは昭和 7 年台湾軍司令部参謀部(懸賞作品白坂義道作詞 長保証夫作曲)で作られた曲がある。」との説明を載せている。

〈<http://blogs.yahoo.co.jp/axttony/8437483.html>〉 (三訂稿: 平成 20 年 5 月 3 日追加)

なお、詳しくは、本 HP 掲載の別稿「台湾軍の歌」覚書—日本統治下台湾諸歌の一齣—(初稿: 平成 20 年 6 月 1 日作成、五訂稿: 平成 21 年 8 月 12 日作成)参照。

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taiwangunka.pdf>〉

(五訂稿: 平成 20 年 6 月 16 日追加、六訂稿: 平成 21 年 1 月 8 日修正、七訂稿: 平成 22 年 10 月 10 日修正)

平成 20 年 5 月 3 日追加、四訂稿：平成 20 年 5 月 31 日一部修正)が、現在では、  
様々なものを聴くことができる(六訂稿：平成 21 年 1 月 8 日追加)。

(以上)